

年 頭 の ご 挨拶

(一社) 山梨県自動車整備振興会会長

山梨県自動車整備商工組合理事長

小 林 達 也

新年明けましておめでとうございます。

令和2年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は全日本自動車整備技能競技大会が東京ビッグサイトにおいて開催され、山梨県代表として南巨摩北チームの選手が出場し、ご健闘頂きました。今後の整備技術向上に大きく貢献して頂いたものと思います。大勢の皆様のご声援ありがとうございました。

さて、昨年の我が国の経済状況は一部で緩やかな回復が続きましたが、令和の時代となっても地方経済は低迷し、未だ回復には至っておりません。そのような中、秋には第四次安倍再改造内閣が発足し、地方にも実感できる景気回復が望まれます。

自動車整備業界においては、平成30年度版自動車整備白書によると総整備売上が5.53兆円、対前年420億円増で2年連続して増加しました。

このような中、自動車業界は100年に一度の変革期とも言われ、優れた安全・環境性能が求められる中、衝突被害軽減ブレーキやペダル踏み間違え時加速抑制装置等運転支援システム搭載車が急速に普及し、更には自動運転技術の研究も進み、昨年5月には自動運行装置等に対応するため道路運送車両法の一部が改正され、分解整備の範囲を拡大し名称を特定整備に変更するなどの改正が行われました。今後はこれら特定整備事業制度への対応、自動車の新技術への対応、更には人材確保などが喫緊の課題となっております。

また、今後導入される継続検査時にOBDを使った検査への対応も重要な課題となっております。本年も課題解決に向けた活発な取り組みが求められます。

業界活性化につきましては、自動車点検整備推進運動や不正改造車排除運動などを積極的に推進し、電子制御装置を搭載した自動車の性能維持等点検整備の重要性や自動車検査証備考欄記載の点検整備実施状況などの更なる周知を図り、確実な点検整備の実施と入庫促進に努めます。

技術向上については、自動車の電子制御装置等新技術への対応力向上のため、スキャンツールの研修や整備技術向上研修等の充実、更にはエーミング研修の実施等技術レベルの向上に努め、併せてコンピューター・システム診断認定店の普及と整備技術情報提供システムFAINESの有効活用にも努めて参ります。また、運転支援や自動運行装置等の電子技術に対する認証制度への対応などにも取り組んで参ります。

整備士の人材確保につきましては、引き続き運輸支局と連携を図り 高校訪問活動の実施、また整備事業者による職場体験への支援等若年 整備士の確保に向けた取り組みを行って参ります。

継続検査のOSSについては、上部団体や関係機関等と連携を図り、 導入拡大に向け取り組むとともに、本年より導入される軽自動車の申請手続きについても周知して参ります。

また、自動車関係諸税の負担軽減や業界の諸課題解決については整備議員連盟を通じ政府に要請を行うとともに、その状況等について情報提供して参ります。

商工組合につきましては、引き続き予備検査場の適正管理等に努め、組合員の利便性向上や利用促進を図って参ります。また、併せて有益商品の研究と提供を行って参ります。

本年も会員・組合員の活性化と経営基盤の強化に繋がるよう取り組んで参りますので皆様方の一層のご理解・ご協力を賜るようお願い申し上げます。

最後に、関係ご当局、関係機関のご指導とご協力を賜りますとともに、皆様のご発展を心より祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和2年 年 頭 の 辞

関東運輸局山梨運輸支局

支局長 荷見 雄二

新年おめでとうございます。

年頭にあたり新春のご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返りますと、平成から令和へ時代が変わり、即位の礼、吉野 彰氏のノーベル化学賞の受賞、また、ラグビーのワールドカップでは、日本の歴史的勝利によるベスト8進出などの明るい話題がありました。

一方、各地で自然が猛威を振るいました。9月、10月には台風に伴う大雨による河川の氾濫や土砂崩れ、停電等により、各地で甚大な被害を受けました。

山梨県内においても台風19号の影響により、JR中央本線、中央自動車道、国道20号線が被害を受け、都心部からの交通が寸断され、県民生活に深刻な影響を及ぼしました。

今般の災害においてバスによる鉄道の代替輸送、道路や鉄道の早期の復旧工事等、ご尽力いただきました関係者の皆様方に改めまして御礼申し上げます。

今年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。

山梨県内では自転車ロードレース競技において、コースの一部となっているほか、卓球やレスリングなどの競技でフランス代表の事前合宿地となっております。

山梨運輸支局としましても東京オリンピック・パラリンピック成功に向け会場周辺における交通対策等に取り組むとともに、この機会を訪日外国人旅行者のさらなる増加につなげるべく、県や関係者と連携のうえ、誘客の促進及び山梨県固有の魅力ある観光資源の磨き上げを支援してまいります。

山梨運輸支局では、引き続き地方公共団体、交通事業者をはじめとする地域の関係者と連携・協力し、地域公共交通の活性化や観光振興の推進などの取組を行ってまいります。

また、これらを支える公共交通機関の安全・安心の確保は、最大の使命であると考えており、これらについても的確に対応した施策を積極的に推進してまいります。

以下、山梨運輸支局が取り組む主要施策と所感の一端を申し上げます。

自動車の検査につきましては、国民生活の安全・安心を確保する上で重要であり、特に安全性の確保や環境の保全は何よりも優先されるべきものです。

山梨運輸支局におきましては、不正改造車の排除とともにナンバー読み取り装置を活用した無車検運行の是正を行い、安全・安心な自動車社会を構築し、国民からのニーズに応じて、引き続き関係機関との緊密な連携を図り街頭検査を実施してまいります。

自動車の点検整備につきましては、自動車の安全・環境に関する性能の保全や安全・安心な車社会の維持のために重要であります。

本年も引き続き、関係機関と連携して「自動車点検整備推進運動」や「不正改造車を排除する運動」を積極的に展開し、点検整備の重要性を啓発してまいります。

自動車整備事業につきましては、自動車の安全性の確保を図るため、悪質な違反行為に対して効果的な監査を実施し、その健全な発達に資するとともに、自動車の高度先進技術への対応等を目的として改正された、道路運送車両法を適切に運用してまいります。

さらに、自動車整備士の人材確保対策につきましては、関係機関と連携を強化し、高等学校への訪問等、引き続き積極的に行ってまいります。

以上、新年を迎えるにあたり、山梨運輸支局における施策、所感の一端を申しあげましたが、これらの実効性を高めるためには、地方自治体、交通事業者等をはじめとする関係者と連携した一体的な取組を進めることが必要不可欠であります。

今後とも、山梨運輸支局の行政の推進に関し、皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。私の新年の挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

軽自動車検査協会山梨事務所
所長 木村 健二

新年明けまして、おめでとうございます。

令和2年の新春を迎えるにあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平素は、軽自動車検査協会の業務運営に対しまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、ラグビーワールドカップが日本で開催され、流行語にもラグビー関係の言葉が選ばれるなど日本国内が盛り上がりを見せ、それにつれてラグビーワールドカップ特別仕様のナンバープレートも約29万枚交付されました。今年はオリンピック・パラリンピックが開催されますので、それ以上の盛り上がりを目指したいと思うところです。

さて、山梨県内の保有台数状況は昨年11月末現在338,582台（対前年比プラス1,505台）と、ここ数年間の保有構造「軽高登低録」が進展している傾向にあります。全国の2019年上期の新車販売台数は前年同期比1.8%増で2年ぶりのプラスとなりました。最大需要月の3月に登録車と軽自動車が揃ってマイナスに転じたため、上期実績への影響が心配されましたが、「平成」最後となった4月と「令和」最初の5月市場で大きく販売を伸ばしました。このうち登録車は0.2%増で小幅ながら2年ぶりに増加し、軽自動車は同1.8%増で上期として2年連続で100万台の大台を超え、3年連続のプラスとなりました。この結果、新車販売全体に占める軽自動車の比率は前年同期に比べて0.4%上昇し引き続き軽自動車のニーズの高さをみせています。

軽自動車は、地域の人々や生活に寄り添いながら進化して、県民の日常生活を支えています。ある調べによりますと、平成30年度に販売された軽乗用車新車の自動ブレーキの搭載率は87.2%に達したと発表されました。軽自動車のユーザー様には、年配の方や女性が多いことから、安心を求め安全性能の高い車種を選ぶ傾向が強くなってきているとのことです。これら高機能車両の自動運行装置に影響を及ぼす整備、又は自動ブレーキなど運転支援装置のエンジニアリングやキャリブレーションには高度な技術を要することから、ますます皆様方のご活躍を期待申し上げます。

また、昨年5月より始まりました軽自動車の継続検査における指定整備のOSS申請にも、本年よりご参加いただき軽自動車検査協会のOSS推進にもご協力頂けること、大変心強く思い感謝申し上げます。

今後とも、軽自動車の安全性確保、公害防止等の環境保全を図るため、厳正、公平な検査を行うとともに、職員一丸となって利用者に対するCSの向上を推進して参りますので、皆様方のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びにあたり、山梨県自動車整備振興会並びに会員の皆様方の益々のご繁栄をご祈念いたしまして、甚だ簡単ではございますが新年の挨拶とさせていただきます。